

バイク用ドライブレコーダー 【取扱説明書】

MF-BDVR002

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
なお、お読みになった後も大切に保管してください。



MAXWIN

ご 注 意

- ・ 本機の取り付け、撮影映像の確認にはスマートフォンまたは、パソコンが必要になります。予めご用意ください。
- ・ 事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず電源オフしてからmicroSDカードを抜いて保管してください。
- ・ 電源オンの状態でmicroSDカードの抜き差しを行わないでください。
- ・ 必ず1～2週間に一度、本機でmicroSDカードのフォーマットを行ってください。

お知らせ

**取扱説明書の
最新バージョンは以下のURLから
ご確認いただけます。**

※取扱説明書のダウンロードファイルはPDF形式になります。

<https://maxwin.jp/download/104878/>



この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよくご確認いただいてから本文をお読みください。

注意事項

- ご使用前に、カメラレンズの保護フィルムを剥がしてください。
- レンズを指で触れないでください。指の脂がレンズに残り、動画や写真がぼやけてしまう場合があります。レンズは定期的にお手入れしてください。
- 初めてのご使用は、必ず本製品を満充電にしてからご使用ください。
本製品の充電に付属のUSB-TypeC充電ケーブル以外は使用しないでください。発火・発熱・故障の原因となります。
充電中は赤色のランプが点灯し、満充電後は緑色のランプが点灯します。
急速充電には対応していません。
※充電アダプターはType-A 5V/1.5Aに対応。
- 長期間使用しないと内蔵のリチウム電池が低電圧保護により録画しない場合がありますので、少なくとも半年に一度は充電してください。
- ご使用前にMUFU Videoアプリをダウンロードしてください。
Wi-Fi接続の初期パスワードは12345678です。
- 本体起動後、自動的にWi-Fi接続します。Wi-Fiは3分以内に接続しないと節電のため自動的に切断されますのでご注意ください。Wi-Fi機能を再起動する場合は本体をマウントから取り外し、もう一度取り付けてください。
※Wi-Fiの使用頻度と使用時間により、本体の使用時間が短くなる場合があります。あらかじめご了承ください。
- スピードクラスV30以上、容量32GB以上のmicroSDカードを推奨します。
- 定期的にmicroSDカードをフォーマットしてください。(月一回のフォーマットを推奨します。)

- 高湿度や温度差が大きい環境では、レンズが曇りやすくなります。解消法はmicroSDカードを取り出し、SDスロットの蓋を開けたまま水気が無くなるまで数時間置いてください。
- マウントは本体と頻繁に接触することにより、マウントに摩擦や傷の跡が残るのは正常であり、使用には影響しません。製品が工場出荷前に検品されているため、稀に本体に摩擦や傷跡がある場合があります。あらかじめご了承ください。
- 取扱説明書の通りに本体マウントをしっかりと取り付けて使用してください。
- 不適切な使用により本体または付属品が損傷した場合、保証は無効になります。
- 走行中に本機の映像を注視したり操作しないでください。前方不注意となり思わぬ事故につながる恐れがあります。操作する場合は安全を確保した上で行うようにしてください。
- 運転中の音量は周囲の音が聞こえる程度に設定してください。環境音が聞こえないと交通事故や負傷など恐れがありますので、ご注意ください。

安全上のご注意

- ご使用地域の法律と車両安全考慮事項に基づき、事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。
- 使用する前に専用アプリと接続し、スマートフォンの時間と同期してください。
- 本製品のファームウェアの機能は参考用です。運転する際は実際の道路状況に応じて判断してください。
- 本製品は、適用される法律の限り、非営利目的のみご使用ください。本製品の故障また使用によって生じた損害については保証の範囲外となり、直接的、間接的問わず、弊社は一切の責任を負いかねます。
- Wi-Fi電波は建物などの障害物を透過できず、最大対応距離は5mです。

- Wi-Fi利用可能チャンネル:Ch1~Ch11。
- Bluetooth電波は建物などの障害物を透過できず、最大通信距離は10mです。
- 本製品は無線データ通信を使用するため、周辺の機器を干渉したり、干渉を受ける可能性があります。
- 電子レンジや電波干渉が起きる機器の近くで使用しないでください。
- 使用環境により電波の受信状態が悪くなる場合があります。
- 本製品が使用する2.4GHZ周波数帯を他の機器が使用している場合、双方の処理速度が遅くなる可能性がありますのでご注意ください。
- 本製品を使用する際、若干熱くなることがありますが、異常ではありません。
- 不適切な使用により本体または付属品が損傷した場合、保証は無効になります。
- 本製品の無線周波数は、他の電子機器が発する無線周波数と干渉し、悪影響を及ぼし、誤動作状態を引き起こす可能性があります。ワイヤレス送信機および回路も他の電子機器に干渉する可能性があるため、次の注意事項を守ってください。

【飛行機】

搭乗時に電波の発する機器の使用を禁止されています。本体のWi-Fi機能をオフにしてください。

【車両】

本製品から放射される電波は、自動車の電子システムに干渉を与える可能性があります。車両の問題については、自動車のメーカーまたは代理店にお問い合わせください。

【ペースメーカー】

ペースメーカーへの干渉を避けるため、本製品を作動している時はペースメーカーから15cm(6インチ)以上離してください。

また、本製品を胸ポケットに入れないでください。干渉が疑われる場合、すぐに本製品の電源を切ってください。

【医療機器】

個人用医療機器を使用する場合は、機器の製造元または医師に相談してください。医療機器に適切な保護対策を確認したうえ、ご使用ください。

【医療機関】

病院や医療機関では、無線電波の影響を受けやすい敏感な電子機器がありますので、医療機関や医療関係者などの指示に従ってください。

【危険場所】

「危険場所」や「電磁波や静電気禁止」など標識が掲示されている場合、電磁波や静電気によって引火の恐れがあるため、電源を切るという指示に従ってください。

- 当社は、使用上のデータ/コンテンツの損失について責任を負いません。

使用上のご注意

本機についての注意事項です。必ずお読みください。

- 本機は事故の検証に役立つことも目的の1つとした製品ですが、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合には弊社は一切責任を負いません。
- 本機は録画状態で使用することにより映像を記録しますが、全ての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 録画された画像は事故の証拠として効力を保証するものではありません。
- 故障や本機の使用中によって生じた損害、及び記録された映像やデータの損害、破損による損害は、法律上の請求の原因の種類を問わずいかなる場合においても本製品の使用または使用不能から生じる損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失又はその他の金銭的損害を含む)に関して、弊社は一切の責任を負わないものとします。

- 本機は常時記録型の映像記録装置です。microSDカードの記録がいっぱいになると古い映像から順に消して新しい映像を記録(書き込み)します。事故などでデータが必要な場合は、速やかに車両のエンジンキーをオフにし、microSDカードを抜いてパソコンに保存するなどの対応をお願いいたします。
- 記録した映像を残しておきたい場合は、パソコンのハードディスクにコピーしておくなどの対応をお願いいたします。
- 内蔵バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合には、録画は動作しないことがあります。
- 運転者は走行中に本機を注視したり操作しないでください。前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。操作する場合は安全を確保したうえで行うようにしてください。
- 本機が起動中にmicroSDカードを抜かないでください。
microSDカードが破損し、映像を記録できなくなるおそれがあります。
microSDカードの破損で映像が記録できない件については、弊社は一切責任を負いません。
- LED式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は、前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件について弊社は一切責任を負いません。
- 本製品は全てのスマートフォンとの接続動作を確認したものではありません。そのため全てのスマートフォンとの動作を保証するものではありません。

microSDカードについて

- 本機を使用するときは、microSDカードが必要です。
- 使用できるmicroSDカードについて
本書では特にことわりのない限り「microSDHCカード」、「microSDXCカード」microSDカードと総称して表示しています。
本機では下記のSD規格に準拠したmicroSDカードに対応しています。

・microSDXCカード： 容量:32～128GB、スピードクラス:CLASS10以上

- ※未使用や利用しているカードに関わらず、初めに本機でフォーマットを行ってください。
- ※全てのmicroSDカードでの使用を保証するものではありません。
- ご使用の際には、必ずmicroSDカードに付属の取扱説明書も合わせてご確認ください。
- microSDカードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。
- microSDカードによっては、挿入、取り外しにくい場合があります。
- microSDカードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- 使用状況によりmicroSDカードの寿命は短くなります。
※寿命となったmicroSDカードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常に使用できなくなります。
- 正常に使用していた場合であっても、microSDカードは消耗品のため、定期的に新品交換またはフォーマットすることをおすすめします。
- 長期間フォーマットがされていない場合、デフラグ(断片化)が発生し、正しく録画がされない可能性がありますので、定期的にフォーマットを行ってください。

- フォーマットは本機で行うようにしてください。本機以外の製品やパソコン等によるフォーマットでは正しく録画ができない場合があります。
- microSDカードに異常がある場合、本機でフォーマットができない場合があります。
- microSDカード内へ本機以外のデータを保存しないでください。正常に動作しなくなる場合があります。
- microSDカードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
- microSDカードの容量や保存されているデータ量によっては、起動時間や録画ファイルの読み込みに時間がかかる場合があります。
- 変形しているmicroSDカードを使用するとエラー発生および故障の原因となります。
- 重大な事故などで本機内部電源が断たれた場合やmicroSDカード自体が破損した場合、記録することができない場合があります。また、記録されているデータが破損する可能性があります。
- 本機の動作温度が仕様外の場合、microSDカードが正常に動作しない場合があります。
- microSDカードの消耗に起因する故障や損傷においては、弊社が保証するものではありません。
- あらゆる事象において破損、消失したデータの復旧サービス等はありません。
- 思わぬ故障や破損等により、データが消失する可能性がありますので、定期的なデータのバックアップをおすすめします。

microSDカード取り扱い時のご注意

本製品に使用する microSDカードで厚さ 0.8mm以上のものはご使用にならないでください。

■カードスロットが詰まり、正常に取り出せなくなることがあります。

国内正規品の microSDカードのご使用を推奨致します。

容量:32GB

品番:SD-A32G



容量:64GB

品番:SD-A64G



容量:128GB

品番:SD-A128G



※microSDカードスロットの挿入口には、microSDカード以外のものは入れないでください。

※microSDカードラベルなどを貼らないでください。

本製品の防水性能について

■ドライブレコーダー本機:

本機は、IP66相当の防塵・防水仕様となっています。

※防水性能は当社試験方法によるものです。

※保護ゴムキャップは取り外さないでください。

※完全防水ではありませんので、水中では使用しないでください。

※本機が濡れた場合、乾いたやわらかい布などで水分を丁寧にふき取ってください。

●本製品の各部品への内部浸水/結露による故障は、保証期間内であっても保証対象外となります。予めご了承ください。

●本製品をご使用の際は、湿気や高温(60℃以上)、極端な温度変化のある環境下を避けてください。

●洗車時には本製品を外して洗車してください。

内蔵充電式バッテリーについて

本機には2000mAhのバッテリーを内蔵しております。

※利用や保管状態に応じて劣化致しますので、充電回数、動作時間に関わらず電池寿命は保証対象外です。電池特性に合った利用・保管方法をお願いいたします。

- 本機を炎天下の屋外や直射日光の強いところなど、高温になる場所に放置しないでください。バッテリー内部で異常な化学反応が起こり、液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。
- 鋭利なもので刺したり、叩いたりしないでください。バッテリーが破裂や変形したりガス漏れなどにより、液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。
- 本機が稼働している状態でも、バッテリーは自然放電してしまいます。バッテリー性能に限らず自然放電による、長期の内部電力量の担保には限界があります。購入後は速やかに、本機の充電をしてください。
※バッテリー満充電時の自然放電は目安は約2ヶ月ですが、保証値ではありません。
- 過放電は電池寿命を縮め充電出来なくなる場合があります。電池切れの前に充電して下さい。
- 本機を長時間使用しない場合は本機から充電ケーブルを外してください。
- 本機を長時間使用しない場合はバッテリー残量を50%程度にしてから保管してください。

アプリ操作時のご注意

設定画面を開くと、システムにより録画が中断されますので、操作完了後【戻る】ボタンを押して頂き録画面に戻してください。

本製品の利用開始することで、上記の内容に同意したものと見なされます。

1. パッケージ内容



本体



挟み込み式
ブラケット



ヘルメット装着型
イヤホン



ハードマイク



ソフトマイク



イヤホンカバー



六角レンチ



Type-C
充電ケーブル



3M両面テープ

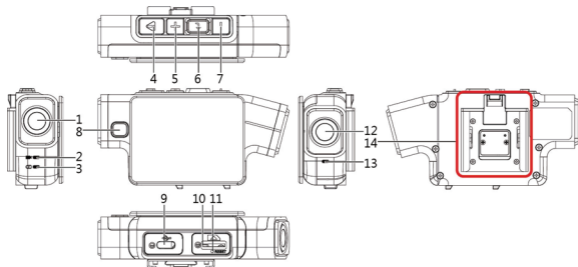


取扱説明書



保証書

2. 本体各部名称



1	フロントカメラ
2	フロントカメラ録画ランプ
3	バッテリーボックス接続ランプ
4	緊急録画 音声記録オン/オフ(3秒長押し)
5	音量+ / 曲送り
6	多機能ボタン Bluetoothランプ
7	音量- / 曲戻し

8	本体LEDランプ
9	Type-C接続端子
10	microSDカードスロット
11	リセットボタン
12	リアカメラ
13	リアカメラ録画ランプ
14	取付マウント接合部

3. LEDインジケータについて

本体LEDランプ	赤ランプ点灯	充電中/USB接続中
	緑ランプ点灯	充電完了
	オレンジランプ点灯	バッテリー残量低下
	緑ランプ点滅	点滅: 録画中 フラッシュ点滅: 緊急録画中
	赤ランプ点滅	点滅: 充電中の録画 フラッシュ点滅: 充電中の緊急録画
	オレンジランプ点滅	点滅: 低電力時の録画 フラッシュ点滅: 低電力時の緊急録画
前後カメラ録画ランプ	赤ランプ点滅	録画中
	赤ランプ点灯	microSDカード未挿入/カードエラー/ 録画停止/USB接続中
バッテリーボックス接続ランプ	消灯	外部バッテリー未接続
	緑ランプ点灯	外部バッテリー使用中
	緑ランプ点滅	外部バッテリー残量低下
Bluetoothランプ	青ランプ点灯 1秒後消灯	Bluetooth起動中
	赤/青ランプ交互に点滅	ペアリング中
	青ランプ点滅	点滅: Bluetooth接続済み フラッシュ点滅: 再度ペアリング中

ご注意: 初めて使用する前に、付属のType-C充電ケーブルを使用して本体を満充電してください。

4. 提示音について

5秒くらいビープ音『ビー』 30秒ごとに鳴り、3回繰り返す	<ul style="list-style-type: none">・ microSDカード未挿入・ カードエラー・ 録画停止
ビープ音3回『ビビビー』	電源オン、録画開始
ビープ音5回『ビビビビビー』	<ul style="list-style-type: none">・ 低電力で電源オフ・ 電源オフ

5. microSDカード挿入

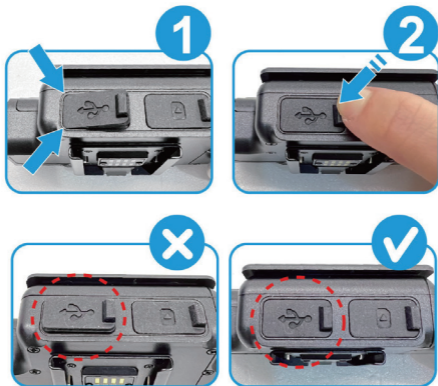
SDカードスロットの蓋を開け、microSDカードを以下の画像の向きにして挿入してください。

挿入後は蓋をしっかり閉めてください。



SDカードスロットの蓋をしっかりと閉めない、水気が本体に入りレンズの曇りが発生する恐れがあります。

画像のように蓋の左側を先に入れてから、蓋の右側をしっかりと入れてください。



注意:

- 録画中はmicroSDカードを取り出さないでください。破損の恐れがあります。
- スピードクラスV30以上、容量32GB以上のmicroSDカードを推奨します。
- 初めて使用するときはmicroSDカードをフォーマットしてください。
- 定期的にmicroSDカードをフォーマットしてください。(月一回のフォーマットを推奨します)
- microSDカードの種類や使い方による差はありますが、平均寿命は2~5年程と言われます。カードの保証期間に達するようであれば、新しいカードの購入をお勧めします。

6. 専用アプリのダウンロード

初めて使用する際は、スマートフォンに専用アプリ「MUFU Video」をインストールしてください。

下記QRコードを読み取るか、Google PlayまたはApp Storeでダウンロードしてインストールしてください。



iOS



android

アプリ内の表示や機能は、バージョンにより異なる場合があります。
アプリは最新バージョンに更新してください。

7. Wi-Fi機能について

- ① 本体をマウントにセットすると電源が入り、Wi-Fi機能が自動的にオンになります。

スマートフォンのWi-Fi設定画面で「MUFU_V70P_xxxxxx(下6桁はランダムの数値)」を選択します。

工場出荷時に設定された暗証番号**12345678**を入力し、本体と接続完了。

- ② Wi-Fi接続後、インストールしたMUFU Videoを開き、本体の設定を行なってください。



注意:

- 本体の電源が入ると自動でWi-Fiはオンの状態になります。アプリを使用していなければ、節電のため3分後にWi-Fi機能は自動的にオフになります。Wi-Fi機能を再開するには本体をマウントから取り外し、本体のLEDランプが消灯してから再度セットしてください。(Wi-Fi機能は常時接続の設定がありますが、余分な電力を消費されますのであらかじめご了承ください。)
- Wi-Fiの電波は建物などの障害物を透過できず、最大対応距離は5mです。
- アプリの言語設定はスマートフォンと同期されます。

8. 取付・取り外し方法

8.1 挟み込み式ブラケット

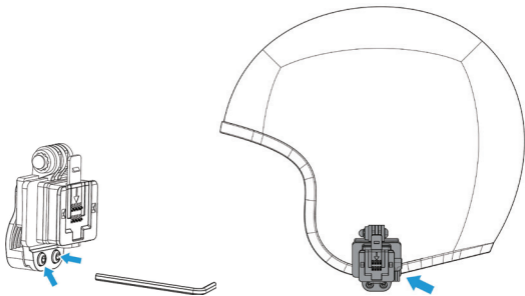
前後レンズの撮影角度が異なるため、本体はヘルメットの「左側」に取り付けてください。不正確な撮影角度を避けるため、ヘルメットの右側に取り付けないでください。

① 距離測定

設置場所と配線が足りているかを測り、配線を圧迫したり強く引っ張ったりして接触不良を起こさないように、本体とイヤホンの長さを1cm程度余裕を持たせてください。

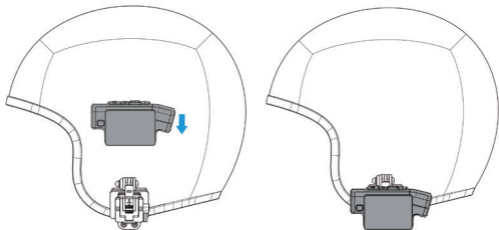
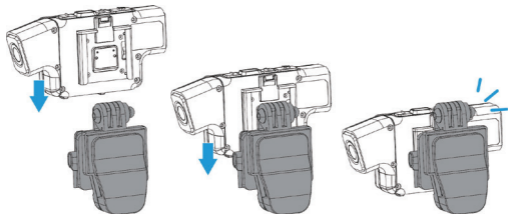
② 挟み込み式ブラケットの取付

六角レンチでブラケットの2本のネジを緩め、ヘルメットの端とライニングスポンジの間にブラケットのクリップを挟み込み、位置を調整した後、六角レンチでネジを締めてください。



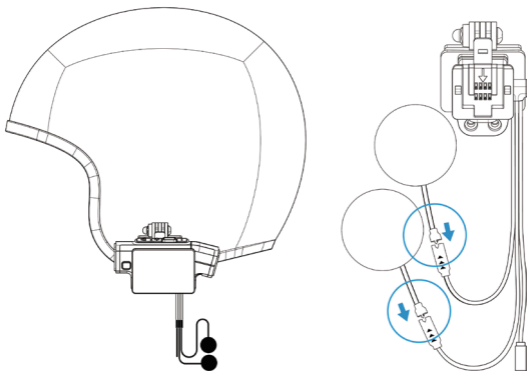
③ 本体の取付

本体を上から下に押し込むと「カチッ」と音がして、背面のクリップ金具がバックルに固定されます。



④ イヤホンの接続

両耳イヤホンをブラケットのイヤホンケーブルに接続します。



注意:

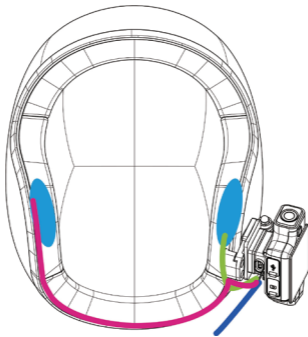
イヤホンケーブルの接続端子の凸部と凹部を合わせて接続してください。
正しく接続しないとイヤホンが鳴らなくなったり、接続端子が破損したりすることがあります。

5 イヤホンの取付

短いケーブルのイヤホンがヘルメットの左側に、長いケーブルのイヤホンはヘルメットの右側に取付けます。

装着位置が決まったら、イヤホン裏面のマジックテープの保護フィルムを剥がし、ヘルメット内側にイヤホンを固定します。

ケーブルを配置し、ヘルメットのシェルとライニングスポンジの間に押し込みます。



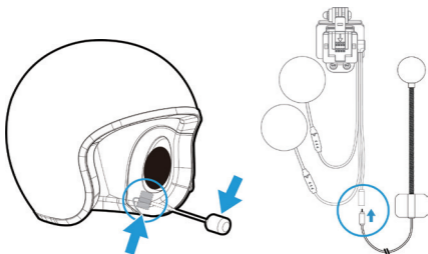
6 マイクの取付

ヘルメットのタイプに応じてハードマイクまたはソフトマイクの取り付けを選択してください。

1. ハードマイク (スモールジェット式ヘルメットに装着)

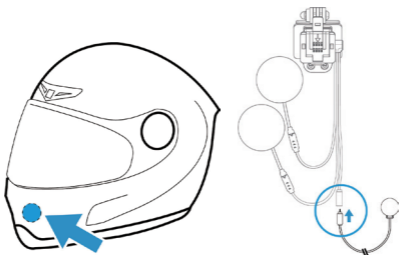
- (1) ヘルメット左側の内張りを剥がし、マイクフェルトをヘルメット左側のシェル内側に貼り付けます。

- (2)ハードマイクをマジックフェルトに接着して固定します。
- (3)ヘルメットのライニングを再度取り付けます。
- (4)マイクコネクタをブラケットのマイク接続端子に挿入します。



2.ソフトマイク(フルフェイスヘルメットに装着)

- (1)マイクのマジックテープをヘルメットの顎部分の内側に貼ります。
- (2)ソフトマイクをマジックテープに接着します。
- (3)マイクコネクタをブラケットのマイク接続端子に挿入します。



⑦ カメラの角度を調整

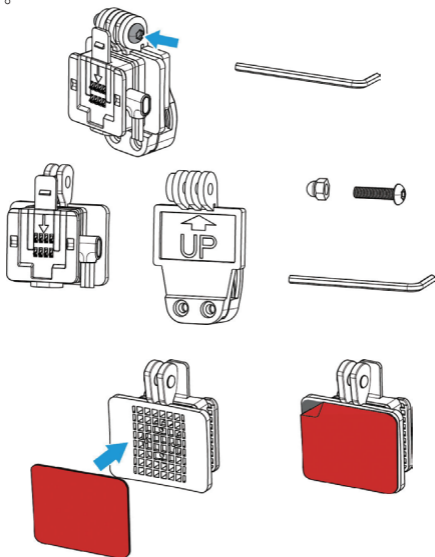
スマートフォンと本機がWi-Fi接続されていることを確認して、MUFU Videoアプリを開き、録画面面を表示します。本体・ブラケットを引いたり回転させたりして、フロントレンズを最適な撮影角度に調整します。



8.2 両面テープ式ブラケット

本製品のブラケットはクリップ挟み込み式と両面テープ式で取付できる2in1タイプです。工場出荷時は挟み込み式ブラケットですが、両面テープ式ブラケットとして使用する場合は、次の手順に従って交換してください。

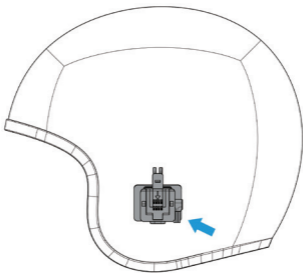
①六角レンチを使用してブラケット上部のネジを緩めて取り外し、クリップ部を取り外します。両面テープの白い剥離紙を剥がし、ブラケットの裏側に貼り付けます。



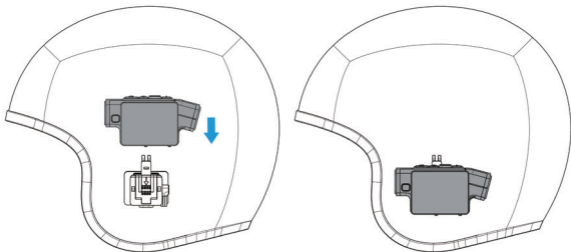
② ヘルメットの接着部分の油分や汚れなどを徹底的にきれいに拭きとります。



③ ヘルメットの表面が乾いたら、ブラケットに貼り付けた両面テープの赤い剥離紙を剥がしてヘルメットに貼り付け、しっかりと押し付けて12時間放置します。

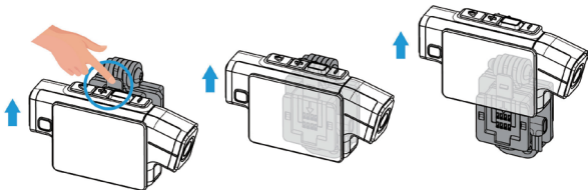


④ 12時間放置後、ブラケットがヘルメットにしっかり固定されていることを確認してから、本体を装着して使用してください。



8.3 本体の取り外し

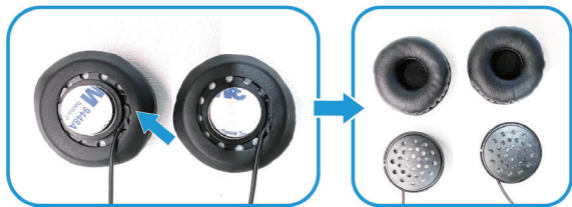
ブラケット上端のバックルを押しながら、本体を上方向に取り外します。



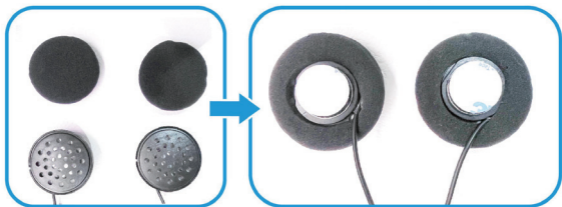
9. イヤホンカバーの交換について

本製品のイヤホンにはフェイクレザーの肌に優しいイヤホンカバーが装着されていますが、お好みでソフトタイプのイヤホンカバーに交換できます。以下の手順でカバーを交換してください。


① イヤホン背面のイヤホンカバーの端を軽く引っ張って、イヤホンカバーを取り外します。



② ソフトタイプのイヤホンカバーを装着します。



10. 本体補正とフォーマット

取付完了後、MUFU Video アプリを開いて録画角度を調整し、 アイコンをタップして本体設定に入ります。

初めて使用する場合は必ず、①傾き補正、②microSDカードのフォーマットをしてください。

①傾き補正:

傾き補正を行った状態をベースに、傾きを検知します。

事故などでバイクが傾いたことを本体が検知すると、自動的に「緊急録画」を開始します。緊急録画時はLEDインジケーターがフラッシュ点滅し、録画データは「緊急フォルダ」内に保存されます。

緊急フォルダ内のデータがいっぱいになると、アプリ内で「緊急録画データが上書きされます。重要なデータをバックアップしてください」と表示されます。

※定期的に緊急録画データを確認及びバックアップをしてください。

②microSDカードのフォーマット:

microSDカードの長期使用は、書き込み性能に影響を与える場合があります。microSDカードを正常に使用できるように、本体は30日ごとにフォーマットするよう通知します。

※初期化する前に、重要なファイルをバックアップしてください。

注意:

- microSDカードの損傷を避けるため、本体の電源が入っているときはカードを取り外さないでください。
- microSDカードには寿命があり、長期間使用すると書き込み速度や保存効率の低下が発生する場合がありますので、その場合は新しいカードをご使用いただくことをお勧めします。

11. 電源オン/オフ

本体の電源は下記のように自動切替します。

① 本体マウントへのセット:

台湾で特許を取得した独自技術により、本体(カメラ)の着脱を検知して電源のオン/オフが可能。

カメラをマウントにセットすると、自動的に電源が入り録画をスタートします。

② 動作検知:

ヘルメットを置いた状態で3分間が経過すると自動で電源がオフになり、余分なバッテリー消費を抑えます。

また、ヘルメットを持ち上げれば再びオンに。

乗り降りの度にボタン操作でオン/オフを切り替える必要はありません。

※この機能を利用する前提として、本体をマウントにセットされ、アプリのカメラ設定で「動作検知」をオンにする必要があります。

注意:

●録画中は前後カメラの録画ランプが赤く点滅し、microSDカードの「ビデオ」データに動画ファイルが保存されます。

本体のインジケータランプが速く点滅した場合は緊急録画を意味し、録画ファイルはmicroSDカードの「緊急録画」フォルダーに保存されます。

フォルダーの容量が一杯の場合、ループ録画機能によりフォルダー内の最も古いファイルから上書きされ、録画が継続されます。

●前後の録画ランプが赤く常に点灯していて点滅していない場合は、録画されていないことを意味します。microSDカードが挿入されているかを確認するか、カードに異常がある場合は交換してください。新しいカードを使用、またはカードをフォーマットしてください。

12. 緊急録画

緊急録画を開始するには2種類の方法があります。

緊急録画が開始されると本体ランプがフラッシュ点滅し、ファイルは緊急録画フォルダに保存され、通常のループ録画によって上書きされません。

緊急録画フォルダがいっぱいになると、最も古い録画ファイルが削除され、新しい緊急録画ファイルに上書きされます。


古いファイルが削除される前に、アプリはバックアップしてくださいというメッセージを表示します。

緊急録画ファイルを定期的に確認し、重要なファイルはバックアップしてください。

①自動緊急録画:

傾き補正を完了すると、走行中に事故が発生して車体が転倒した場合、自動的に緊急録画を開始し、本体ランプがフラッシュ点滅します。

②手動緊急録画:


録画中に 【緊急録画ボタン】を押すと緊急録画を開始し、本体ランプがフラッシュ点滅します。

注意:

- 自動緊急録画はアプリでオン/オフの設定ができます。自動緊急録画をオフにしても、手動での緊急録画は可能です。
- 緊急録画ファイルはmicroSDカード容量の約20%を占めますが、設定をオフにしてもこの容量は残ります。

13. Wi-Fiパスワードの変更

Wi-Fiのパスワードを変更したい場合は、以下の手順で変更ください。
※変更せず出荷時のパスワードをそのまま使用しても問題ありません。

① スマートフォンと本体を接続し、MUFUアプリで  【設定画面】に入ります。

「Wifi接続パスワード設定」を選択します。

→ 新しいパスワードを入力

→ 再び新しいパスワードを入力

→ 「OK」を押すと、「変更後に再度本体とスマートフォンの接続をしてください」と表示されます。「確認」を押してください。

→ スマートフォンのWiFi設定画面で再び接続してください。

② iPhoneの場合:

iPhoneのWi-Fi設定画面に入り、MUFU_V70P_xxxxxxを選びます。

(!) マークをタップして、このネットワークを削除してください。

W-iFiを再起動し、再び新しいパスワードを入力して接続します。

③ androidの場合:

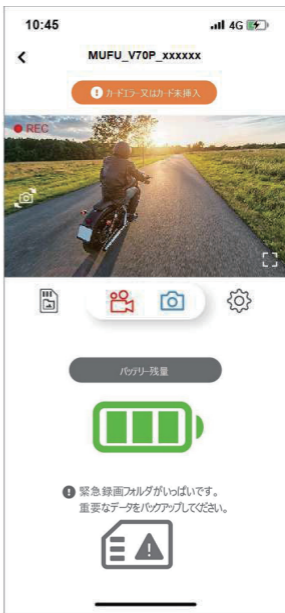
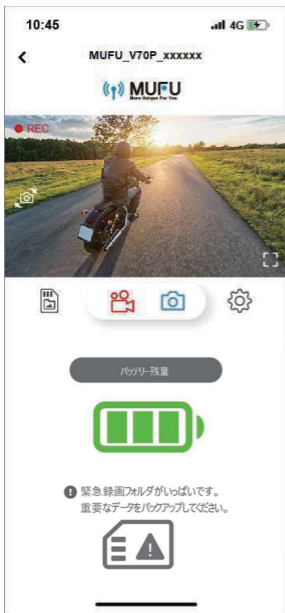
スマートフォンのWi-Fi設定画面で再度MUFU_V70P_xxxxxxを選び、新しいパスワードを入力して接続します。

注意:


パスワード変更後は必ず新しいパスワードを覚えておいてください。パスワードを忘れた場合はメーカーにてファームウェアを更新する必要があります。

14. 専用アプリについて

①メイン画面



アイコン	説明
 <p>MUFU More Images For You</p> <p>カードエラー又はカード未挿入</p>	MUFUロゴ/microSDカード情報
 <p>REC</p>	カメラのリアルタイム映像を出力
	フロント、リアカメラの表示切り替え
	全画面表示
	録画/録画停止
	静止画を保存
	SDカード内録画データ (録画データの再生)
	本体設定
<p>バッテリー残量</p> 	通知: 本体バッテリー残量

アイコン	説明
<p>❗ 緊急録画フォルダがいっぱいです。 重要なデータをバックアップしてください。</p> 	<p>通知: 緊急録画ファイルがいっぱいになり、古いデータから上書きされます。重要なデータをバックアップし、緊急録画ファイルを削除するとこの通知が表示されません。</p>


注意:


- アプリを開くと、本体はスマートフォンの日付/時刻と自動的に同期します。
- アプリの画面や機能はバージョンによって異なる場合がありますので、Google PlayまたはAPP Storeから最新版をダウンロードしてください。
- 動画の再生時に音声再生できない場合は、カメラの設定で録音機能がオンになっているかどうかを確認してください。録音機能がオンになっている場合は、スマートフォンが音声と動画のデコードに対応していないことを意味します。ファイルの問題ではありません。完全な動画を見たい場合は、ファイルをスマートフォンにダウンロードし、VLCなどの他の動画アプリケーションをスマートフォンにインストールして、ダウンロードした動画を再生してください。
- 削除したファイルは復元できません。重要なファイルを削除する前に、必ずバックアップを取っておくようにしてください。
- 写真機能はアプリを使用して写真を撮影するため、レコーダーのmicroSDカードとアプリのローカルフォトアルバムに同時に保存され、レコーダーファイルの写真プレビューのサムネイルには「ダウンロード済み」とマークされます。
- 大量の動画や写真ファイルをダウンロードまたは読み取るには、Type-Cケーブルを介してコンピュータに接続することをお勧めします。

2 アルバム

アプリでダウンロードしたファイルは、アプリのアルバムで見ることができます。
(スマートフォンのアルバムではありません)






ダウンロードしたファイルは本体と接続しなくても見られます。

スマートフォンにダウンロードする場合は、【保存】のアイコンをタップしてください。

1. アプリの起動ページ下部の 【ローカルアルバム】をクリックします。
(本体がアプリに接続している場合、本体は録画を一時停止します。)

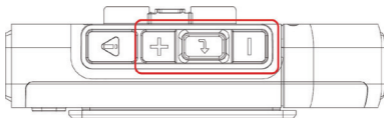




2. 再生、削除、編集したい動画または写真を選択します。








アイコン	説明
	データの編集
	データのシェア
	スクリーンショット(動画から静止画の切り出し)
	動画や静止画をスマートフォンのアルバムに保存: 正常に保存されると、画面に「アルバムに保存されました」と表示され、端末のアルバムに「MUFU Video」フォルダが自動的に生成されます。
	データの削除: アプリのアルバムに保存されているデータは削除されますが、microSDカード内のデータは削除されません。

15. Bluetoothの操作について

15.1 Bluetoothボタン/ランプについて



名前	説明
 Bluetoothランプ (多機能ボタン)	Bluetoothランプ ・赤-青ランプ点滅: ペアリング中 ・青ランプ点滅: ペアリングしました ・青ランプフラッシュ点滅: 再度ペアリング中 ・赤ランプ点灯: インカムモード停止
	手でBluetoothを接続(2秒ほど長押し)
	ペアリング
	言語確認
	着信/切る/着信拒否
	音楽再生/一時停止
	手でBluetoothを切断(2秒ほど長押し)
 +/左ボタン	音量+
	曲送り(2秒ほど長押し)
	言語切替

名前	説明
 -/右ボタン	音量-
	曲戻し(2秒ほど長押し)
	AIアシスタント呼び出し(5秒ほど長押し)
 + 	言語設定(中国語/英語/日本語/タイ語/提示音)
 + 	自動着信オン/オフ
 + 	インカムモード(2秒ほど長押し) 設定初期化(10秒ほど長押し)

15.2 Bluetoothオン/オフ

本体をヘルメットマウントに取り付けると本体の電源が入り、Bluetoothは自動的にオンになります。


本体を取り外すと、本体の電源が切れBluetoothは自動的にオフになります。

15.3 Bluetoothペアリング

①初回ペアリング:

本機の電源がオンになると、Bluetoothが自動的に起動されてペアリングモードに入り(赤-青ランプ点滅)、音声で「ペアリング」と案内します。

初めてスマートフォンとペアリングする場合、スマートフォンのBluetoothを起動し、デバイス名「MotoCam」を選択してから、自動的にペアリングします。完了すると、「接続済み」という音声提示をします。(青ランプが6秒ごとに点滅)

※Bluetoothを起動してペアリングしなければ、2分後自動的にBluetoothがオフになります。【多機能ボタン】を2秒ほど長押しするとBluetoothが再びオンになります。

②自動再接続:


スマートフォンと本機を接続したことがある場合、次回使用する時に本機の電源をオンにすると自動的に再接続されます。接続が完了すると青ランプが6秒ごとに点滅し、「接続済み」という音声提示をします。

1分以内に接続に失敗した場合はペアリングモードに入ります。

ペアリングしなければ、2分後自動的にBluetoothがオフになります。


【多機能ボタン】を2秒ほど長押しすると再びオンになります。

③手動ペアリング:

【多機能ボタン】を2秒ほど長押しし、ペアリングモードに入りペアリングします。

15.4 電話への応答

① 応答する:

電話がかかってきたら 【多機能ボタン】を1回押して電話に出ます。通話を拒否するには2回押します。ビープ音が2回鳴ります。通話が終了したら、1回押すと電話が切れます。ビープ音が2回鳴ります。

② 自動応答:


電話がかかってくると、約10秒間の呼び出し音の後に自動的に応答します。この機能をオフにするには、以下のように操作してください。

(1) 自動応答をオフにする

+【+ボタン】を押したまま、【多機能ボタン】を2秒ほど長押しします。「自動応答オフ」の音声聞こえたら指を放します。



(2) 自動応答をオンにする

+【+ボタン】を押したまま、【多機能ボタン】を2秒ほど長押しします。「自動応答オン」の音声聞こえたら指を放します。

15.5 AIアシスタント呼び出し


1 【-ボタン】を5秒ほど長押しするとスマートフォンのSiriまたはGoogle音声アシスタントを呼び出します。

音楽再生モードの場合、音楽は一時停止されます。インカムモードの場合も一時停止します。

15.6 音量設定

+ 【+ボタン】または **1** 【-ボタン】を押すと音量を調整できます。最大や最小音量の場合、ビープ音が2回鳴ります。

15.7 音楽再生


音楽が流れているときに  【多機能ボタン】を1回押すと音楽を一時停止します。もう一度押すと音楽再生を再開します。

+ 【+ボタン】または **1** 【-ボタン】を2秒ほど長押しすると曲送りまたは曲戻しします。

注意:

- 各通信ソフトの使用方法は電話と同様ですが、スマートフォンのOS (iOS/android) や各通信ソフトのアプリによって異なる場合がありますので、ご使用方法についてご不明な点がございましたら、購入したスマートフォンまたは通信ソフトウェア・ソフトウェアアプリのメーカーにお問い合わせください。
- 一部のandroidスマートフォンは、Line、Skype、WeChatなどのアプリで自動応答機能がありません。ご注意ください。
- 着信音は本機システムのデフォルト音であり、スマートフォンで設定されている着信音とは同期しません。
- iPhoneのBluetoothで電話を受けない場合、以下の方法をご参考ください。
 - ①スマートフォンで「MotoCam」を選択し、手動でBluetoothをペアリングします。
 - ②iphoneの設定画面で、アクセシビリティ→タッチ→通話オーディオルーティング→Bluetoothヘッドセットを設定して下さい。

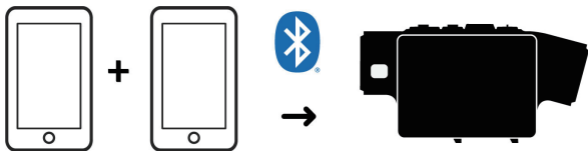
15.8 2台のスマートフォンを同時に接続

① 本体の電源が入ったら、1台目のスマートフォンをペアリングして接続します。接続後、【多機能ボタン】を2秒ほど長押しすると赤-青ランプが交互に点滅し、ペアリングモードに入ります。

② 2台目のスマートフォンのBluetooth設定で「MotoCam」を接続してください。

③ 2台目のスマートフォンが接続されたら、1台目のスマートフォンを再度接続してください。すると2台のスマートフォンが同時に接続した状態になります。

④ 次回本体の電源を入れると、最後に切断したスマートフォンに自動的に接続されます。2台目のスマートフォンを手動で接続してください。




15.9 言語/提示音設定

1 【-ボタン】を押したまま、 【多機能ボタン】を2秒ほど長押しすると言語設定モードに入ります。



+ 【+ボタン】を押すごとに、日本語→タイ語→提示音→中国語→英語に切り替わります。

選択後  【多機能ボタン】を押し、ピープ音が2回鳴ったら設定完了です。

15.10 Bluetooth初期化

+ 【+ボタン】と **1** 【-ボタン】を同時に10秒ほど長押しして、ピープ音が2回聞こえたらボタンを放します。赤ランプが3回点滅し、Bluetoothがオフになります。

本機を再起動するとBluetooth初期化を完了します。



製品仕様

本体

イメージセンサー	500万画素SONY Starvis IMX335センサー搭載
有効画素数	2592(H)x1922(V)
記録媒体	スピードクラスV30以上、容量32～128GBのmicroSD推奨
レンズ	広角防水レンズ搭載、F1.8
前後カメラ 録画サイズ/ フレームレート	2560x1440p 27.5fps 1920x1080p 55fps 1920x1080p 27.5fps HDR
ファイル形式	TS
静止画形式	jpg（アプリで静止画を保存、解像度は設定により異なります。）
Gセンサー	3軸重力センサー(ON/OFF)
bluetooth	5.0 (HFP HSP A2DP AVRCP)
Wi-Fi	内蔵
ブザー	内蔵
バッテリー	2000mAh
操作温度	-10～60℃
操作湿度	20～70%RH
保存温度	-30～70℃
サイズ	101×53×30mm
重量	約120g

IEEE 802.11g/n(HT20) Wi-Fiチップ内蔵: RTL8188FTV

Wi-Fi周波数帯	2412~2462MHz
Wi-Fiチャンネル	Ch1~Ch11

イヤホン／マイク

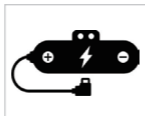
イヤホン	50mW Max./ 16ohm
マイク	無指向性のマイクロフォン

オプション品（別売）

※仕様が変更になる場合があります。予めご了承ください。



専用収納ケース



外付け防水
バッテリーボックス

主な特徴



センサー電源オン/オフ、装着即時録画



SONY STARVISセンサー搭載 前後2K録画



外付け防水バッテリーボックス(別売)



2000mAhバッテリー内蔵



傾き検知で自動データロック



ハンズフリー電話



スマートフォン音楽再生



Bluetooth5.0



防塵防水IP66



専用アプリ、録画映像をすぐに確認

MAXWIN